

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 芦屋健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>「食育推進計画（第4次）」を進めるために、まずは地域の食育推進の中心となる栄養関係機関・団体の共通理解と連携が重要である。</p> <p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年度より芦屋市健康増進・食育推進計画の改定作業が進められており（令和6年度より第4次計画開始）、芦屋市の食育推進の方向性をふまえて、地域の取組を検討する必要がある。・Smileはんしん栄養ケアステーション（令和2年度開設）では、地域に根ざした活動を模索されている。・管内には、芦屋栄養士会と芦屋在宅栄養士会の二つの栄養士会が組織化されており、地域の食育推進のためには両会の連携が大切である。
今年度の推進方策	栄養関係機関・団体により、地域課題の共有や取組の情報交換を行うとともに、今後の食育推進の方向性を検討する。
成果	<p>栄養関係機関・団体が一堂に会し、それぞれの活動状況や食・栄養のデータを共有するとともに、地域の現状・課題を抽出し、食育推進の方向性（重点課題）を検討した。</p> <p>【出席者アンケート：回答12人／出席13人】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の食・栄養の現状・課題について理解が深まったか →とても深まった6人、深まった6人、 あまり深まらなかった0人、変化無し0人・活動の参考となりそうな、所属へ持ち帰れる内容はあったか →あった12人、なかった0人
今後の方向性	地域の食育推進に向けて、引き続き、栄養関係機関・団体の共通理解と連携を深める。

2 会議の開催状況

実施日時	令和4年12月9日（金）14:00～16:00
参集者 (団体数 及び人数)	芦屋栄養士会 芦屋在宅栄養士会 Smileはんしん認定栄養ケアステーション 芦屋市こども・健康部健康課 芦屋市こども・健康部ほいく課 (5機関・団体 13人)
協議内容	1 情報提供「兵庫県・阪神南地域の食生活の現状」 2 情報交換「栄養関係機関・団体の食育の取り組み」 3 意見交換「芦屋市における食・栄養の現状と課題」
今後の方策	今年度検討した重点課題をそれぞれの機関・団体の活動につなげ、共有・評価する場として、健やか食育推進会議を継続する。 今後も栄養関係機関・団体の情報共有（活動状況、食・栄養のデータ等）の場を設けつつ、必要な活動につなげていく。

3 食育実践活動の結果

テーマ	栄養関係機関・団体の実態把握		
対象及び参加者数	①芦屋市こども・健康部健康課	1人	
	②芦屋栄養士会	4人	
	③Smilはんしん認定栄養ケアステーション	2人	
	④芦屋在宅栄養士会	6人	
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和4年6月6日 13:30~14:00 芦屋市保健センター	※それぞれの機関・団体の 実態把握	芦屋健康福祉事務所
	令和4年6月23日 13:30~14:00 Smilはんしん認定栄養 ケアステーション	1 兵庫県食育推進計画（第 4次）の説明 2 食育の取組状況 3 食育推進の課題	
	令和4年7月12日 18:15~18:45 デイサービスセンタ ー京		
	令和4年9月14日 9:30~10:15 芦屋市保健センター		
成 果	<p>【成果】 把握した課題やニーズをふまえ、健やか食育推進会議における、食・栄養のデータ共有、地域課題の検討等に繋げることができた。</p> <p>【評価指標と目標値及び達成状況】 実態把握を行う機関・団体数 計画：4 → 実施：4</p>		
今後の課題	引き続き、栄養関係機関・団体の取組状況を把握するとともに、地域の重点課題をふまえた食育活動や栄養関係機関・団体間の連携を支援する。		

令和4年度 健やか食育プロジェクト事業

～栄養のネットワークで地域の食育を考える～

背景

- 令和4年度より芦屋市健康増進・食育推進計画の改定作業が進められており、芦屋市の食育推進の方向性をふまえて、地域の取組を考える必要がある。
- Smileはんしん栄養ケアステーション（令和2年度開設）では、地域に根ざした活動を模索されている。
- 芦屋市には、芦屋栄養士会と芦屋在宅栄養士会の二つの栄養士会が組織化され、地域の食育推進のためには両会の連携が大切である。

地域の食育を進めるために、まずは食育推進の中心となる栄養のネットワークと共通理解と深める



実践活動

4つの栄養関係機関・団体の実態把握を行った。

（食育の取組状況・課題）

芦屋栄養士会

芦屋在宅
栄養士会

Smileはんしん
栄養ケアステーション

芦屋市
こども・健康部

【把握した課題・ニーズ】

- 食に関するさまざまなデータを全体的に見る機会があるとよい。
- 地元の芦屋市に根付いた活動を考えていきたい。
- 関係団体とそれぞれが担う役割の共有と確認ができるとうよい。

⇒ 「健やか食育推進会議」における、食・栄養のデータ共有や地域課題の検討につなげる。

【出席機関・団体】

芦屋栄養士会、芦屋在宅栄養士会
Smil はんしん認定栄養ケアステーション
芦屋市こども・健康部健康課、ほいく課

1 地域の食・栄養のデータ共有

- 子どもの食生活アンケート（芦屋市学校栄養士会）
- 健康づくりに関するアンケート（芦屋市）
- ひょうご栄養・食生活実態調査（暫定値）

2 情報交換

－食育の取り組み－



3 グループワーク

－芦屋市における食・栄養の現状と課題－



【感想】

- ・ライフステージ別の課題等を知ることができ、実践すべき食育について考えることができた。
- ・各機関の取り組みを知ることができた。
- ・今後もこのような会があればよいと思う。



【重点課題】

- インターネット等情報氾濫による誤った知識の実践
- ライフスタイルに伴う食生活の変化
- 社会的弱者(高齢者等)への配慮

- 今年度検討した重点課題をそれぞれの機関・団体の活動につなげ、共有・評価する場として、健やか食育推進会議を継続する。
- 今後も栄養関係機関・団体の情報共有（活動状況、食・栄養のデータ等）の場を設けつつ、必要な活動につなげていく。